

# 勝率80%UP | トレンド転換の極意



どうもクマ侍です。

過去に何度も資料等を配布していますが

既に1〜3段と大ボリュームで大衆心理の概念や、相場参加者が何を考えているか？

については解説しており

全ての大衆心理を完璧に理解すると、取れる所が無限にできます  
様々なパターンを私のおもいつく限り書いたのですが

長すぎて具体的に何をしたいのか？初心者さんからしたら難しいという声を頂いていたので

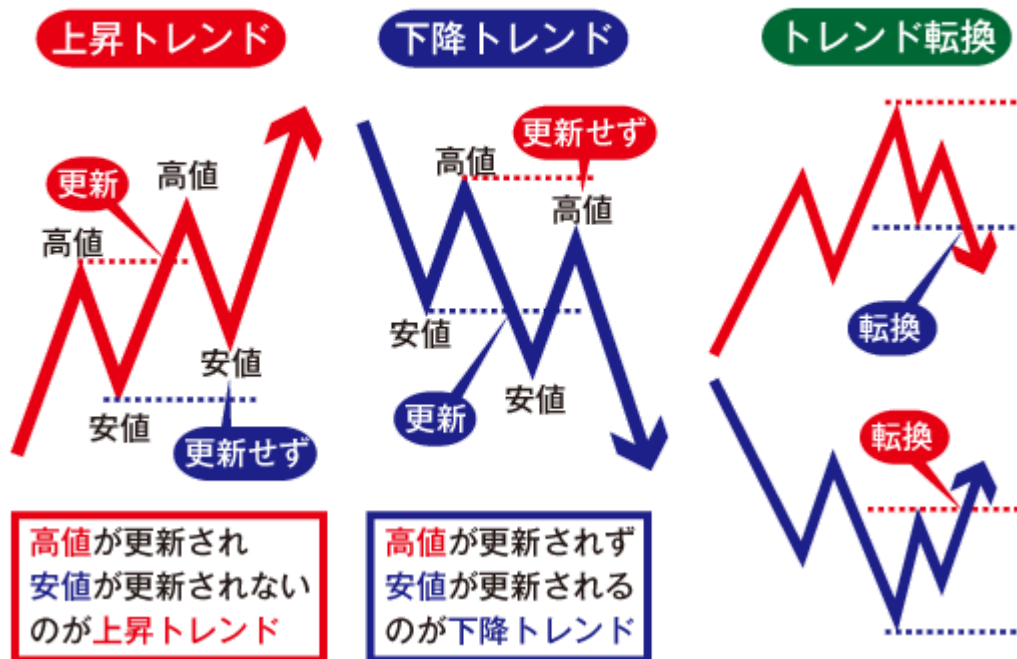
これだけやっていたらトータルで結果がでやすく簡単に再現  
しやすい内容をココに記します

必要な知識も初心者👉さんが扱うツールや理論のみなので、是非知って使ってみて下さい。

それでは解説に移ります

## ■必要な物 2つ

図4 トレンド継続の条件と転換の見分け方byダウ理論



ダウ理論。特に説明はいりません。画像の通りです。

高値安値切り上げ→ロングを狙う

高値安値切り下げ→ショートを狙う これだけです



あとはダウ理論と組み合わせで、どこから上昇が続きやすいか？を水平線を使って判断します。これも難しい物ではなく良く反応してる所に引くだけなので、難しく考えなくていいです

## ■勘違いされてる転換



上記に転換のパターンを3つほど書きました、赤い波で下落して→青い波でダウ理論的には転換を示唆する図なのですが、皆さんの中での確率の高い転換は1~3どれに当たるでしょうか？

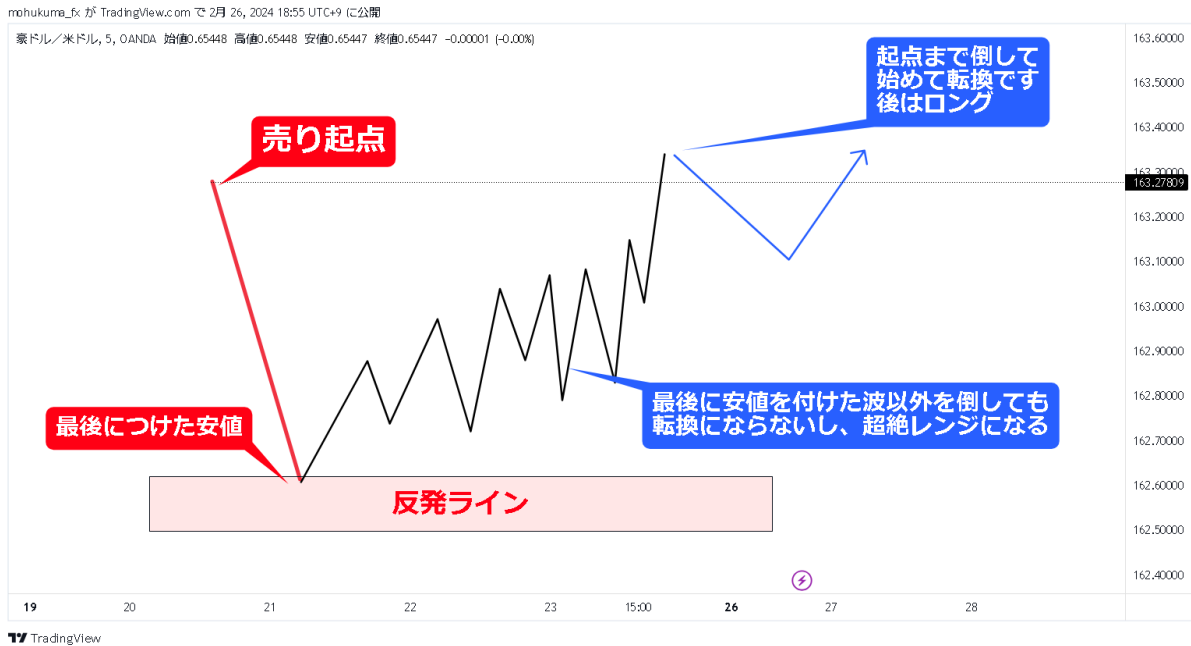
結論から言いますと  
高確率で転換するパターンは②と③です

理由は、最後に安値を更新した波を、青波が倒して居るからです！

①が転換として弱いのは  
最後に安値を赤波が更新した後に出来た、弱気な戻り売りを青波が倒していますが、高値安値を更新してない波をいくら倒そうが、そもそも弱いので転換にはならないという事です

もう少し解説します

## ■最後に更新した波を倒す！



高値を更新する、安値を更新するという事は

それなりに大きな力が入ったという事です

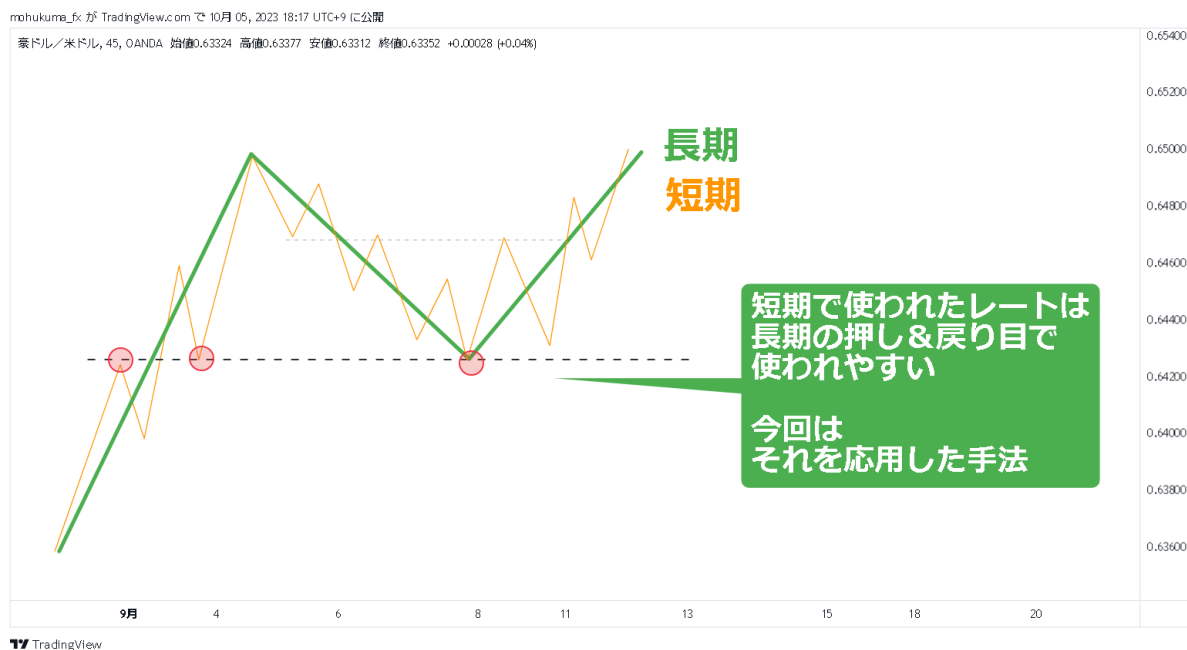
その大きな力が入った波を倒してから【転換】という判断が出来るようになります

だから1ページ前の①で転換を判断する＝力が入って無い波が崩れて転換と判断すると痛い目を見ます



直近のドル円の転換例です。ここまで見たら次は手法のロジック部分に移ります

## ■手法のロジック部分



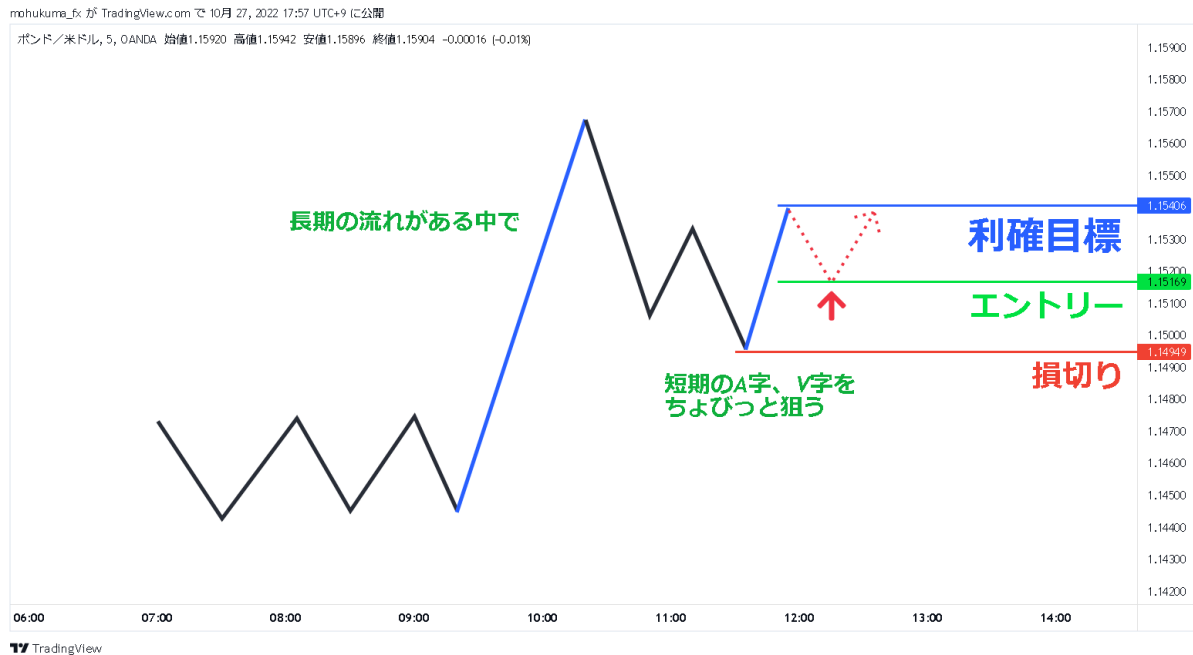
基本的にやる事としては

長期がダウ理論的に上昇の中で水平線で押し目候補を設定し  
その位置から短期下落が上昇に転換してからロングを狙うやり方です

ショートの場合は逆です

で、画像に記載した通り短期で使われたレートは長期の押し目候補として使われる事が殆どなのでその反応を見てトレードをしていきます

## ■取りに行く部分(利確,損切り)



取り方としては第3弾の内容と同じ取り方になります。

- ①長期の流れを見る
- ↓
- ②短期で押し目を待つ
- ↓
- ③短期が転換するのを待つ
- ↓
- ④転換後に戻って来た所でエントリー
- ↓
- ⑤3の高値利確、安値損切り

この5工程です

ただだら解説もあれなので、実際のチャートを見て順番に解説して行きましょう

# ①長期の流れの確認ダウ理論

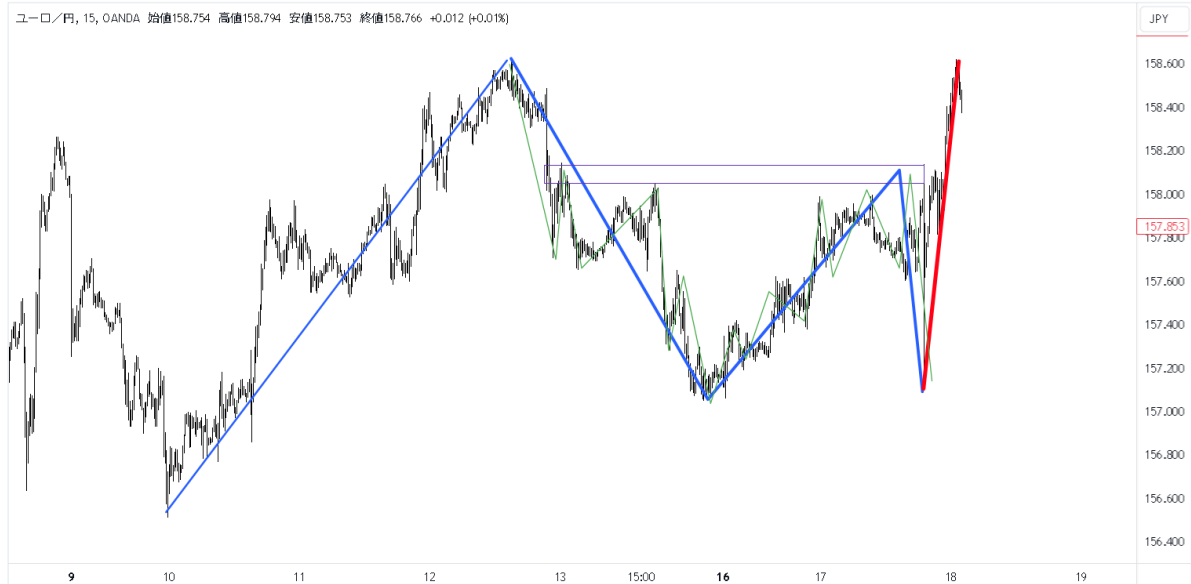
mohukuma\_fx が TradingView.com で 10月 22, 2023 16:43 UTC+9 に公開



TradingView

まずはこのチャートで現在どちらの方向に相場がむかっているか？を考えましょう  
ダウ理論的に考えて高値安値を線で結んで行けばいいです

mohukuma\_fx が TradingView.com で 10月 22, 2023 16:51 UTC+9 に公開



TradingView

この作業はだれでもできますね。高値と安値を結んで行った結果。現状はダウ理論が転換して、赤の上昇トレンドという事が分かります。なのでロングで目線を固定します

※注意点としては、画像をよく見るとうっすら緑の波形が見えると思いますが、今やってる事は長期の流れを確認してるので、あまり細かく引かない様にしてください

大きく線を引く事を意識して下さい

## ②押し目候補を決める(水平線)



先ほどのダウ理論で長期の上昇が決まりました。なのでその上昇ができるまでに短期で使われたレートを探しに行きます。なので短期の波形を線で引いて行きましょう



短期の波形を引いていくと大体この様な形になりました。この引き方についても特殊な引き方はなく、誰もが引けそうな波形を引ければよいです。

そしたら短期で使われたレートを探して、押し目候補を探して行きましょう！



## ②-1 押し目候補



一旦引きで見ましたが、緑の波形の反応してる所と、過去のレートに合わせて、大体この2つの紫の候補ができました。

この2つの紫の候補を使って長期の赤上昇は高値に向かって上昇していきだろうか？

と予想します。

後はこの紫まで落ちてくるのを待ちます

### ③短期が転換するのを待つ



①、②の工程が終わった後、押し目候補にレートがタッチしてきました。

が、ここでのエントリーはまだリスクがあります

なぜならオレンジの下落がつよいんだ！！という思いでショートを打ってくる人間(大衆心理)がいるからです

先ほど解説しましたよね??

ここさえ抑えればかなり勝率あがるので絶対見て下さい

### ③-1 パターン(1)全てを倒す



オレンジの波で押し目候補に突っ込んできたので、売りが完全に倒されて、トレンドが転換するのは、シンプルにV字でオレンジ波を倒した時です。

ただこのパターンだと長期高値付近からオレンジの下落が入ってるので、もしV字のまま長期高値に触れた場合は、目標達成になるのでその後のエントリーは一旦スルーです



理想は高値につかずに、V字して緑の○辺りでのロングエントリーです

### ③-2 パターン(2)オレンジの本気を倒す



もうひとつは、③の最初で言った通り、本気出した売りを倒した時です。

売りが強いんだ！！って思ってる人達も同様に、②の工程で戻り目候補を設定して、ショートを打ってくる人間がいます。

その人達の売りが入ったのが見えた。。のに買いが勝ってしまえばトレンド転換になります

### ③-3 絶対だめなやつ



さっき転換パターンで解説した通り

これがfxやってて勝ちきれない人に最も多い負け方だと思います

「売りの本気位置見てない」「短期の更に下の短期を転換と判断」これやってると負けます



結果売りの本気にやられて損切りになってしまう

## ④ 転換後に戻って来た所でエントリー



③で転換パターンを解説しましたが、この相場は③-2のパターンで短期が転換しました

これでロングの構えに入ります



あとは利確、損切りを画像のように設定して

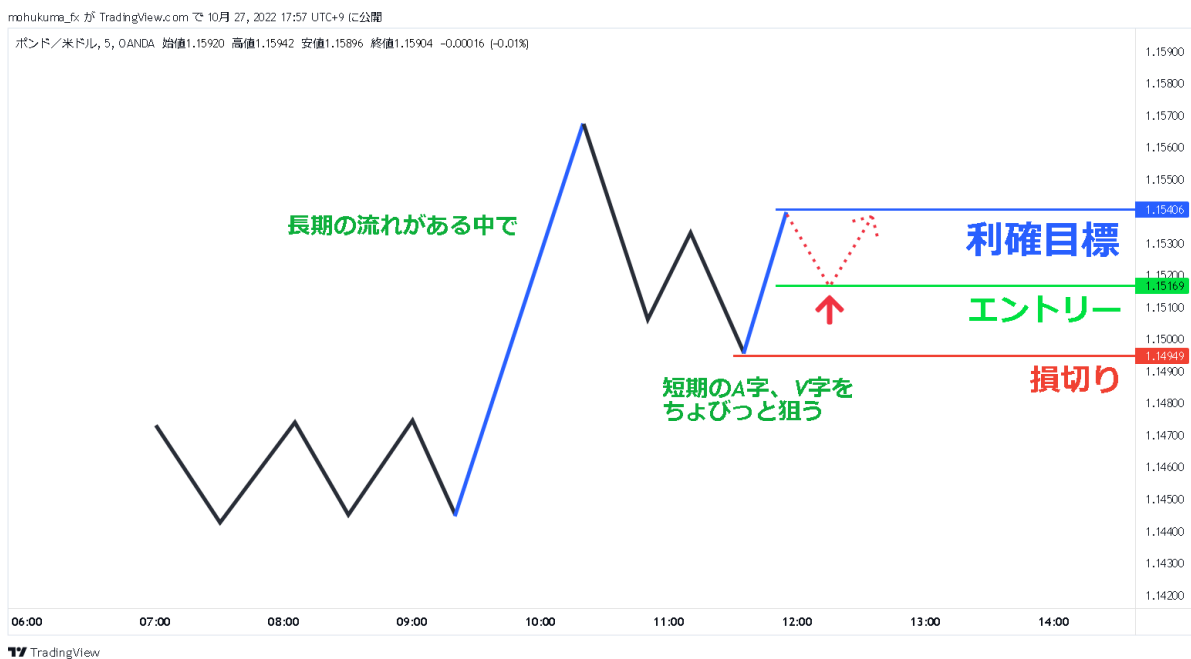
RRが1：1になる所で指値でも良いのでロングエントリーを構えてれば良いです

## ⑤3の高値利確、安値損切り



結果ロングで利確出来ています

初期に解説した画像と全く同じ形のパターンです⇩



## ■なぜ長期高値まで狙わないのか？



先ほどのエントリーから利確後、相場は大きく下落しました。良く長期高値まで狙わないのはなぜか？について聞かれるのですが、こういう動きがあるからです。しっかり理由があります



簡単に言えば、どっちの押し目候補を使って長期の高値を目指すのかは分からないからです。我々が取りに行くのは長期の流れの中で、短期で安全な所を狙ってるので

長期では上のパターンでいく事もあれば、下のボックスから行くパターンもあります



# ■安全な所だけを取りに行く



長期はどんな波形を描いて上に行くのか？は分からないので

短期的に売りがつぶれた、緑のボックス波形部分だけを取りに行くのが最も安全で取りやすいです



結果したの押し目候補で長期高値を越えてきましたが、エントリーする場所はありませんでした

ここからは今の流れをおさらいして

エントリー集を載せておきます

①長期の流れを見る

↓

②短期で押し目を待つ

↓

③短期が転換するのを待つ

↓

④転換後に戻って来た所でエントリー

↓

⑤3の高値利確、安値損切り

この5工程をしっかり頭にいれていきましょう！

# ■エントリー集



長期ある中で押し目候補を設定して短期転換でロング



長期が下落の中で転換を待ってショート



長期下落の中で、買い戻しが大きいと、押し目候補が2~3こ出てくると思うので

ショートと目線を決めていけば、緑のロング候補を設定し③の工程を待ち

④になってからショートエントリーです



コチラも長期下落の中で戻り目候補を設定し、戻り目に入った上昇崩す下落で転換と見てショートです

## ■最後に(長期に対して短期が入らない)



ここまで長期に沿って短期で狙うやり方を紹介しましたが、これを練習すると

長期は下落なのに、短期下落が入らずに全くショートができない上に目線を下にしているからロングも出来ない状態が出てきます

結論からいえば、何もしない方がリスクは低いです  
ただほんとに何もしない日々が続くのは勿体無いです。

これより先は中～上級編

長期の動きが見込めない時に、逆方向の流れを取る方法に移るのですが

初心者の方はやる必要が全くないので最初はこれだけやって下さい！

もしここまで読んでより学びたい人はLINE@にて相談や質問頂ければ無料でお答えします

最後までありがとうございました。

